

令和7年度概算要求における 陸上自衛隊宮古島駐屯地等に係る施設整備等について

【施設整備】

- 防衛省では、南西地域の防衛体制を強化するため、平成31年3月に宮古島駐屯地を開設しており、令和6年度中に電子戦部隊を配備する予定です。
- これらの部隊運用に必要な基盤確保のため、引き続き施設整備を行っていく計画です。
- 令和7年度概算要求においては、
 - ◇ 宮古島駐屯地では、
 - ・ 電子戦部隊配備に関連する隊庁舎の整備
 - ・ 部隊運用に必要な通信電子器材保管庫新設、洗車場の新設、レンジャー訓練塔の新設
 - ◇ 保良訓練場では、既存部隊のための整備場新設及び外柵整備等を実施する予定であり、これらを含め宮古島駐屯地等における施設整備等に係る経費として全体で約63億円を計上しています。



令和6年8月
防 衛 省

航空自衛隊宮古島分屯基地に関する 令和7年度概算要求の主要事業について

【南西航空警戒管制団第53警戒隊のレーダー能力向上】

経空脅威の高まりを受け、極超音速滑空兵器（HGV）等を探知・追尾するための能力を強化するため、固定式警戒管制レーダー装置（FPS-7）の能力向上を実施することとしております。

令和7年度概算要求においては、FPS-7の能力向上に係る経費として、約5億円を計上しています。

【警戒管制レーダーへの遠隔制御機能付加】

警戒管制レーダーの運用を一層効率化し、今後のレーダーサイトの省人化を図るため、令和7年度概算要求において、宮古島分屯基地の警戒管制レーダーに遠隔制御機能を付加するために必要な経費として、約3億円を計上しています。